

○事業所名	児童デイ ゆめ木風2			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 19 日 ~ 令和 8 年 1 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 世帯	(回答者数)	1 世帯
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 9 日 ~ 令和 8 年 1 月 23 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 名	(回答者数)	7 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 16 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち一人ひとりに合った療育を提供できます。それぞれの特性や個性を把握した上でその子に合った療育方法を話し合い検討することができるスタッフ、そしてその療育についての話し合いを十分に確保できる勤務環境を備えています。	<ul style="list-style-type: none"> 療育が子どもたちにとっていかに重要なことかをスタッフに学んでもらいながら、共に仕事をする中でその大切さを直で感じてもらい浸透させていく。 大人の目線ではなく子どもの目線を意識してもらい支援する。 スタッフ全体の情報共有を大事にして療育への意識を統一できるように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ間での交流を意識していく。情報共有を密にしていく。 皆が話しやすい環境を整えることで、モニタリング会議でも様々な意見が出やすい環境を目指す。 子どもの視点、気持ちになった上での接し方を意識する。 スタッフと常に支援の仕方を話し合いながら療育への意識を高めてもらう。
2	広い支援スペース、窓から見える見晴らしのいい景色など、ゆったりとした環境が子どもたちの`楽しい気持ち、をより豊かにします。 事業所の外観もお城のようで子どもたちが来所する際の楽しみの一つになっています。	<ul style="list-style-type: none"> 室内の環境整備、清潔感のあるフロア環境を徹底。 その日のフロア状況に応じた子どもたちの過ごし方、楽しみ方を意識する。極端な制限をしないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の取組を継続した上で、支援の充実に努めていく。
3	ゆめ木風、ゆめ木風3が同一建物内に併設されており、非常時の情報共有ならびに連携体制がとりやすいことです。	<ul style="list-style-type: none"> 別事業所が身近にある為、情報共有を含めて支援についての相談や提案、改善方法なども協議しやすい。 事業所内に居るだけでは見えない部分も、他事業所を観察することで俯瞰して見る事が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆめ木風、ゆめ木風3ともに協力体制を維持しながら、支援の充実に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流、地域に開かれた事業運営など、事業所外との交流できる機会を設けることができていません。	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流ができるイベントに対しての情報収集が少ない。 子どもたちの特性によって参加できるイベントが限られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントなどの情報収集力を強化し、参加行事として増やしていく。 子どもたち一人ひとりの特性を踏まえた上での参加(短時間の参加、簡単なふれあい等)を考慮していく。
2	保護者の皆様から見た当事業所への見解に不明瞭さがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者による事業所評価の集計において『どちらともいえない』の回答が見受けられる。 子どもたちが楽しく通えていることは把握してもらっているが、その支援方法や内容にまで周知が行き届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の皆様と面談する際には、子どもたちの日常の様子だけでなく、支援での様子やその結果だけでなく事業所での支援内容も意識しながら伝えていく。
3			